**タイトル アート・リサーチ原稿テンプレート (MSPゴシック16pt)**

――**サブタイトル (MSPゴシック14pt)**

阿藤　利紗子（立命館大学文学部　助教）

E-mail [arc@ritsumei.ac.jp](mailto:arc@ritsumei.ac.jp)

阿藤　利紗夫（立命館大学文学部　講師）

**abstract**

This template is a guide to prepare manuscript for ART RESEACH. \*\*\*Please be sure to include an abstract in both English and Japanese. \*\*\*Please include an abstract in English here. \*\*\* English is about 100 words. \*\*\*Text size is 9pt. \*\*\*century for English. \*\*\*Line spacing is one line (single-spaced) \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**要旨**

本原稿は、アート・リサーチ原稿テンプレートです。＊＊＊日本語・英語の要旨を必ずつけてください。＊＊＊ここには日本語の要旨を入れてください。

＊＊＊日本語の文字数は200字程度＊＊＊文字の大きさは9pt＊＊＊字体は、日本語はMSP明朝、英文はcentury、＊＊＊行間は１行分 (シングルスペース) です。＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**序論**

本原稿は、アート・リサーチの原稿テンプレートです。原稿執筆にはこのテンプレートをご使用ください。原稿サイズはA4版とし、ページ余白は、上25mm、左20mm、右20mm、下20mmとし、ヘッダーおよびフッダーには何も入れないでください。

**文字及び改行**

**文字の大きさと改行**

使用言語は、日本語または英語とします。タイトル、著者名、（所属）、メールアドレスを記入してください。日本語のタイトル、サブタイトル、著者名とメールアドレスはMSPゴシックで記入してください。文字の大きさはタイトル16pt、サブタイトル14pt、著者名とメールアドレスは10pt、下寄せで記入してください。本文は10ptの2段組みとし、片側34字×30行、段間は10mmを基準としてください。

章タイトルの行間は2行分 (ダブルスペース) とし、節タイトルの行間は1行としてください。節と節の間は1行空けてください。

**字体**

章タイトル、節タイトルはMSPゴシック太字、10pt、日本語の本文はMSP明朝、英文の本文はCenturyとします。長文の引用は、

長文の引用文は2字下げとします。長文の引用文は2字下げとします。長文の引用文は2字下げとします。

のように、2字下げで引用してください。本文中に注を付す際には1)、上のように「1)」を6pt、縦中横とし、「1)」を下付きにします。文末の注釈や参考文献は9ptで表記してください。

**図表**

本文中の図表には通し番号をふり、9pt、MSP明朝、英語の場合はCenturyでキャプションを付してください。キャプションは左揃え、表の場合は表の上部に、図の場合は図の下部に記してください。

表1 サンプル

図1 サンプル

［注釈］

1)引用された文献の一つとして、山上（一九九九）があげられる。ここにおいて山上は、ホスピタリティの概念を服部（一九九四）のものを用いて、一章をその解説にあてている。

2)服部（一九九六）、六十九頁

3)Teare（一九九四）、五～六頁

4）難波明生、計量経済学講義、日本評論社、二〇一五、二〇九頁

5）落合成行ほか、HDD用流体軸受スピンドルにおけるラジアル方向衝撃応答実験、 設計工学、二〇一二、四十七(八)、三七九～三八五頁、 https://doi.org/10.20783/DIAS.496

［参考文献］

【雑誌中の論文】

著者名、論文名、雑誌名、出版年、巻数、号数、はじめの頁～終わりの頁

服部四郎、「上代日本語の母音体系と母音調和」、『言語』、一九七六、第五巻、六号、二～十四頁

松原茂樹、加藤芳秀、江川誠二、「英文作成支援ツールとしての用例文検索システムESCORT」、『情報管理』、二〇〇八、五十一（四）、二五一～二五九頁

【一冊の図書】

著者名、書名、出版者、出版年、総頁数

木下是雄、『理科系の作文技術』、中央公論新社、一九八一、二四四頁

【論文集の一論文】

著者名、論文名、書名、編者名、出版者、出版年、はじめの頁～終わりの頁

村主朋英、「医学分野における動向」、『電子メディアは研究を変えるのか』、倉田敬子編、勁草書房、二〇〇〇、五九～九七頁

【インターネットのウェブサイト】

著者名、ウェブサイトの題名、ウェブサイトの名称、更新日付、入手先(URL)、閲覧日付

文化庁、「国語表記の基準 常用漢字表記」、国語施策情報システム、二〇〇二年十一月一日、 <http://www.bunka.go.jp/kokugo> 、(閲覧日二〇〇九年十二月三日)

※文献は、上記のスタイルに従って引用してください。他の記述スタイルを引用する場合は、本論文内で統一されていること。